

## 令和7年度 第1回益田市国民健康保険事業運営協議会議事録

1. 日時：令和7年8月6日（水） 14：00～15：00

2. 場所：益田市役所本館3階大会議室

3. 出席者

(1) 委員

西川友史会長

熊谷恵子 羽柴裕美 久保久三 森本美智子

松本祐二 齋藤寿章 松本英俊 安野伸路

河上契三 齋藤義己 西本洋平 川合葉子 13名

(2) 事務局

山本市長 和崎福祉環境部長 岩井保険課長

澄川福祉環境部美都分室長 小林福祉環境部匹見分室長

保険課：丸山保険課長補佐 三澤保険係長 田中主任主事、

健康増進課：青木主任保健師

4. 委員欠席者

狩野卓生 岡崎光敏 2名

5. 議事録

※明らかな誤りや個人情報等配慮が必要な内容は書記判断による補足・修正等あり

※事務局説明は特にコメントのない限りは省略

### (1) 開会

【事務局（岩井保険課長）】

時間となりましたので、ただいまより令和7年度第1回益田市国民健康保険事業運営協議会を開会いたします。

皆様本日はお忙しい中、また大変お暑い中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は会の進行を務めます保険課長の岩井と申します。

どうぞよろしく願いいたします。

着座にて失礼いたします。

さて本日は、2号委員の狩野委員 4号委員の岡崎委員がご欠席となっております。

益田市国民健康保険条例施行規則第 5 条第 1 項の規定によりまして、委員定数の半数以上かつ 1 号、2 号、3 号委員が各 1 名以上出席することが開会の要件とされております。

したがいまして要件は満たされておりますことをご報告いたします。

また本日初めてのご出席となる委員がいらっしゃいますのでご紹介いたします。

4 号委員の川合葉子委員です。一言よろしく願いいたします。

#### 【川合葉子委員】

地方職員共済組合島根県支部の川合葉子です。よろしく願いいたします。

### (2) 西川会長あいさつ

#### 【事務局（岩井保険課長）】

それでは、西川会長よりご挨拶頂きます。

#### 【西川会長】

こんにちは。

委員の皆さん方におかれましては大変お忙しい中また猛暑が続くお疲れの中、ご出席を頂きましてありがとうございます。

また今回よりご出席を頂きます川合委員におかれましては今後ともよろしく願いをいたします。

さてこのたびの運営協議会につきましては、令和 6 年度の決算見込み、令和 7 年度の保険料を決定したことによる財政状況、また保健事業につきましては、昨年度からスタートしております第 3 期データヘルス計画の進捗状況を受けるといった内容となっており、通常の事業運営に関わる議題が中心となっております。

国民健康保険は市町村が保険者として運営する制度であり、保険税や保健事業の取組につきましても被保険者に限らず市民の関心も大変高いところでございます。委員の皆様方におかれましては議題に対しましての忌憚のない意見を頂きまして、議論を深めていただきますようお願い申し上げます。私の開会の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

### (3) 山本市長あいさつ

#### 【事務局（岩井保険課長）】

続きまして、山本市長より御挨拶申し上げます。

#### 【山本市長】

皆さま、本日はお忙しい中、令和 7 年度第 1 回益田市国民健康保険事業運営協議会にご出席頂き、誠にありがとうございます。

また平素から益田市の国民健康保険事業に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、新たに就任いただきました川合委員にもご承諾頂き誠にありがとうございます。

さて国民健康保険運営協議会におきましては、益田市の国保会計の状況や全国的な制度改正の動向を踏まえ、国保事業の重要な事柄についてご審議頂く大変重要な会議でございます。

国民健康保険を初めとする公的医療保険制度を取り巻く状況は、人口構成の変化や医療費の動向から、全国的にも制度の在り方が検討されているところでございます。

益田市の国民健康保険におきましても、この 8 月の一斉更新をもって、従前の被保険者証から、マイナ保険証や資格確認書への完全移行を実施いたしました。

本日は、主に令和 6 年度決算見込みと令和 7 年度国保税の算定状況、そして第 3 期データヘルス計画の進捗報告について、事務局から説明させていただくことになっております。今年度の後半には保険税の税率についての審議を予定しております。

そのためにも、現状の財政状況をご理解頂き、引き続き益田市国民健康保険の健全な運営のため、忌憚のない活発なご審議をお願い申し上げます。

結びに、委員の皆様におかれましては、今後とも益田市の国民健康保険事業に対して、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

#### 【事務局（岩井保険課長）】

会議の冒頭でございますが、ここで山本市長が公務の都合によりまして退席いたします。委員の皆様、どうぞご了承くださいませ。

#### (4) 配布資料確認等

##### 【事務局（岩井課長）】

###### ・ 配布資料確認

「令和 7 年度第 1 回益田市国民健康保険事業運営協議会資料」

「国民健康保険事業特別会計（事業勘定）用語説明」

「資料 益田市（国保被保険者）の特定健診を生かした保健事業」

「第 3 期データヘルス計画」（冊子）

【事務局（岩井課長）】

それでは、これより議事に入ります。

議事録署名者の指名を含めて、今の進行を西川会長にお願いいたします。

## （5）傍聴希望者確認

【西川会長】

ここから私のほうで進めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。円滑な議事進行に努めてまいりたいと思いますので、どうかよろしくをお願いいたします。

最初に、傍聴希望の方がございますか。

【事務局（三澤保険係長）】

いらっしゃいません。

【西川会長】

傍聴の希望は無しということでございます。

## （6）議事録署名者の指名

【西川会長】

議事録署名につきましては会長指名ということでございますので私のほうから指名をさせていただきます。

1号委員の久保委員さんと4号委員の西本委員さんをお願いをしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

## （7）議事

### 議題 1.令和6年度国民健康保険事業特別会計決算見込状況について

【西川会長】

それでは、議題1 令和6年度国民健康保険事業特別会計の決算見込み状況について、事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局（丸山課長補佐）】**

令和6年度の決算につきましては、現時点では、9月に開催される予定の市議会での議決を経ていない時点でございますので、表題のほうは、決算見込みとしておりますことをご了承ください。

- ・「第1回益田市国民健康保険事業運営協議会資料」P2～P5 説明  
(省略)

**【事務局（澄川美都分室長）】**

- ・「第1回益田市国民健康保険事業運営協議会資料」P6 説明  
(省略)

**【事務局（小林匹見分室長）】**

- ・「第1回益田市国民健康保険事業運営協議会資料」P7～8 説明  
(省略)

**【西川会長】**

はい。ありがとうございました。

ただいま事務局より国保事業勘定の説明、また美都、匹見澄川、匹見道川の診療施設勘定の説明がございました。お気づきの点やご意見ございましたらお出しいただきたいと思えます。ご意見等は、ございませんか。

**【西川会長】**

ないようでございますので、議題1 令和6年度国民健康保険事業特別会計決算見込みの状況につきましては承認扱いとさせていただきます。

**議題2.令和7年度国民健康保険税本算定の状況等について**

**【西川会長】**

続きまして議題2 令和7年度国民健康保険税本算定の状況等について事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局（丸山課長補佐）】**

- ・「第1回益田市国民健康保険事業運営協議会資料」P9 説明  
(省略)

**【西川会長】**

はい、ありがとうございました。

そうしますと令和7年度国民健康保険税本算定の状況等についての説明がございました。この件につきましても、皆さん方でお気づきの点御意見ございましたらお出しいただきたい

いと思います。

**【西川会長】**

ご意見等が無いようでございますので、議題 2 令和 7 年度国民健康保険税本算定の状況等につきましても承認の扱いとさせていただきます。

**議題 3.第三期データヘルス計画進捗報告について**

**【西川会長】**

続きまして議題 3 第三期データヘルス計画進捗報告につきまして事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局（丸山課長補佐）】**

保健事業につきましてはこれまでも、前年度の事業運営の状況など、8月に開催する会議のほうでご説明してきたところですが、第3期データヘルス計画が令和6年度から開始されていることから、今回からデータヘルス計画の進捗報告という形で、様式を整えましてご説明いたしたいと思います。

データヘルス計画の進捗報告につきましては、計画にございます全項目について報告様式を添付しております。

今回の会議につきましては国民健康保険の運営協議会ということで、資料1枚目のA4横の資料に記載があります、国保被保険者の特定健診を生かした事業を中心にご報告させていただきます。

**【事務局（田中主任主事）】**

- ・「資料1 1.特定健康診査受診率向上」説明  
(省略)

**【事務局（青木主任保健師）】**

- ・「資料1 2.特定保健指導」、「資料1 3.生活習慣病予防」、「資料1 4.糖尿病性腎症重症化予防」説明  
(省略)

**【西川会長】**

ただいまデータヘルス計画の進捗状況につきまして事務局より説明がございました。何かこの件につきましてもお気づきの点また御意見ございましたらお出し頂きたいと思います。

**【齋藤寿章委員】**

資料「益田市国保被保険者の特定健診を生かした保健事業」

目標の 2 に医療費の抑制という言葉が使っていますが、以前もお伝えしたと思いますけどもこれは抑制を目標とするのではなくて、適正化というところを目標にさせていただくことが望ましいのではないかなと思います。

以前の説明として、医療保険でも、病気の予防あるいは病気の重症化を重点化しています。

病気を放置して重症化したところで多額の医療をつぎ込むのではなくて、軽度なところから、より広く、医療、サービスを提供して、病気の早期治療を重症化予防に目標を掲げていただきたいと思っています。

早期の病気の予防、あるいは治療、重症化予防で幅広く医療提供サービスを充実したら、医療費はかさむかもしれませんが、放置された病気を治すというよりは質の高い医療につながるという点で、医療費の適正化を目標にさせていただきたいと思います。

県の計画でも、データヘルス計画の 5 ページのところで、島根県医療費適正化計画という言葉を使っていますので、益田市もそこを目標にさせていただきたいと思います。

**【事務局（丸山課長補佐）】**

委員のおっしゃるとおり、抑制という言葉の仕方ですとちょっと誤解のある表現だと思います。市のほうでも医療費適正化という語を正式な事業名等で用いておりますので、資料の作成の際には気をつけたいと思います。

**【松本祐二委員】**

出てきているデータは生活習慣病に関わる場所が多いのですけれども、予防の面で少し考えてほしいのは、今、国のほうの事業で、益田市として実施しているのが肺炎球菌のワクチン接種、それから今年から带状疱疹の接種が始まりました。

できれば、もう一つ、今はRSウイルスのワクチンがございます。これをやはり益田市としてもやっていただきたい。

日本全国で市町村別に 20 か所ぐらい実施しているところがあるのですけれども、ぜひこれをやってもらうと、肺炎を起こして入院する期間が短くなる、それから肺炎そのものが少なくなる。他市町村では、やはり医療費が少し全体としては安くなる、病気をしない。今、肺炎と誤嚥性肺炎が日本全体で言いますと死因の中で第 3 番目になります。

その予防措置をしてもらうことで重症化しないし、たとえかかっても、早く退院できるということでトータルでは医療費が少なくなる、そこに少し予算を割るとかそういう取組をしていただければなというふうに思っております。

**【事務局（岩井保険課長）】**

ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を踏まえまして、内部でも検討してまい

りたいと思います。

具体的には健康増進課が所管となりますので、そちらのほうにも報告をして検討してまいりたいと思います。

#### 【西本洋平委員】

協会けんぽの西本です。

いつも協会けんぽ加入者の健康づくり等にもご協力いただきまして、ありがとうございます。

今回ちょっと説明いただけなかったのですが、2種類の通知事業。ジェネリック医薬品軽減額通知と医療費通知の発送について2点ほど質問させていただきます。

まず、医療費通知の発送ですけど、資料のほうを見させていただくと、大体2万通前後ぐらいお送りされている。現在はマイナンバーカードのマイナポータルで確認できるようになってきていると思います。マイナポータルにつなげていない方については送らないといけないと思いますが、将来的に通知事業、マイナポータルとつながっている方についての発送事業について、どのように今後考えるのかということ。

また、ジェネリックの普及の啓発のための切替え通知。こちらのほうも500通ぐらい送ってらっしゃるということですが、資料では切替えの効果額が30万少々。協会けんぽもジェネリック切替え通知をお送りしているのですが、なかなか費用対効果の面からお送りしても効果もなくなってきました。もはや今9割程度ジェネリックであがってきていますので、こちら、今後どうされるのかということをお今の段階のお考えを教えてくださいと思います。よろしく申し上げます。

#### 【事務局（三澤係長）】

ご意見いただきありがとうございます。

まず、医療費通知についてです。

現在年に4回、月で区切って、合計1年間分の医療費通知を全ての受診をされた被保険者に世帯ごとにお送りをしている状況になります。

これにつきましては、医療費通知を送るところで、国の努力支援制度の対象にもなっているところ、また県の交付金の対象にもなっており、財源がありますので、今のところ継続して、発行するようなことになろうかと思っております。

当然マイナポータルで、医療費通知の情報が参照できるということもありますので、そういうマイナ保険証のことも含めて周知は並行して図っていきたいと考えております。

ジェネリック医薬品の差額通知につきましても、同様に、国から努力支援制度で財政措置されているようなところもございますので、益田市の場合もジェネリックの普及率は高い状況にはありますが、引き続き、通知を行っていくような形を考えております。

**【松本祐二委員】**

ジェネリック医薬品についてはですね、今、薬剤供給が非常に不安定になってしまっていて。ジェネリック品薄なので、先発品に変えてくれということを薬局から言われます。そのくらい薬が入ってきません。国際情勢の影響もあり、もう、ジェネリックに変えるというのも限界になってしまっていて。薬そのものが、ありません。あまりジェネリックジェネリックと言われても、医療機関や薬局のほうが対応できなくなっているという状況があることもご承知おきください。

**【西川会長】**

ご意見ということでよろしゅうございますか。

**【松本祐二委員】**

はい。

**【西川会長】**

他にはございますか。

議題3第3期データヘルスの進捗の報告につきましても、承認扱いということでさせていただきますと思います。

先ほど松本委員から発言のあったワクチンのことについて、事務局から「検討します」と言われたので、次回またはその次の会議のとき、協議内容というのが答えられるようにしておいてください。

**【事務局（岩井保険課長）】**

承知しました。ご報告をいたします。

**【西川会長】**

そういたしますと、議事のほうは以上で終了でございます。

全議題について承認頂きましたので、ありがとうございます。

**(8) その他**

**【事務局（岩井保険課長）】**

2号委員の斎藤委員から資料の提出を受けております。これより、事務局からお配りいたします。斎藤委員、資料の説明についてお願いいたします。

### 【齋藤寿章委員】

はい、この国保のデータヘルス計画の 65、66 ページ、に歯周疾患検診及び口の健康づくりということが書かれてありますので、これに関連して、新しい知見が、収集できましたのでお知らせします。

データヘルス計画 66 ページの歯周疾患検診及び口の健康づくりの評価指標、アウトプットには歯周疾患検診受診率、これを上げる。アウトカムには、歯周疾患検診受診者で残存歯 20 本以上ある者の割合。それから特定健診受診者で、「何でも噛んで食べることができる」と回答する者の割合を増やしましょうという目標設定があります。

今日お配りしたのは、島根県歯科医師会と島根大学医学部、それから国立保健医療科学院、それから、島根県の地域包括ケア研究教育センターとの共同研究で、世界的にも有名な医学雑誌ランセットという雑誌の姉妹雑誌ではありますけども、健康長寿分野の雑誌に掲載された論文の結果の一部です。

この対象者はどんな方かといいますと、島根県の後期高齢者歯科口腔健診の受診者 2 万 4000 人程度。平均 3 年半ぐらいの追跡をしました。

この表の左は、口腔の健康指標と、要介護 2 以上になるかどうか。

表の右は、口腔の健康指標と死亡との関連を調べたものです。

性、年齢それから BMI という体格指標、それから、どんな病気にかかったことがあるかという既往歴、全て調整した上で、影響の高い要因をここに載せてあります。

PAF と書いてありますけども、難しい用語でありますけど、集団寄与危険割合といって、益田市、あるいは県といった行政の保健医療施策において注力すべきポイントを示す重要な指標の一つと考えています。

例えば、客観的な咀嚼機能はグミを噛んだ分割数なのですが、この最低のレベルの方を、より噛めるようにしたらどのぐらい要介護 2 以上の者が減るか、という指標になります。

ここには数字が書いてありませんけども、この要介護 2 以上であれば、客観的な咀嚼機能のも低いものをよくすると、23.10% ぐらい要介護 2 以上の者を減らすことができると。

要介護 2 以上を減らす、強い力の順番では、1 位には客観的な咀嚼機能、実際によく噛めているかどうか。2 番目に歯周組織の状態、中程度のもの、3 番目には歯の少ないもの、4 番目は口腔衛生、5 番目は主観的な咀嚼機能、主観的なというのは自分で噛めるかどうかの判定です。

死亡については、最も強い影響力があったのは、客観的な咀嚼能力、そして歯の数、主観的な咀嚼機能、歯周組織の状態、下顎の義歯といった項目も入ってまいります。

今、益田市で行っている歯周疾患検診、それから特定健診で、なんでも噛んで食べることができる者の割合をしっかりと上げていくことは、こういった、介護予防、要介護 2 以上という自立喪失という領域になるのですが、それと、死亡を減らすことができるということが高いレベルのエビデンスとして認められました。

今後ともですね、益田市、それから地域のいろんな関係者が一生懸命やっている、歯周疾

患を、軽度なところからすくい上げて、重症化を防いでいきたいと思います。それから、介護予防、それをさらにその前の段階、特定健診の年代でも、しっかり嚙んで食べるものを増やしましょうというのは、実際にこういったものに貢献できていることが分かりましたので、みんなで一緒に頑張っていきたいと思いますというメッセージを最後に送りたいと思います。

【西川会長】

情報提供をありがとうございました。

そういたしますと、これもちまして皆様方の御協力を頂きまして予定の内容を滞りなく終わられましたのでお礼を申し上げます。ありがとうございました。

進行のほうは、事務局のほうにお返しいたします。

【事務局（岩井保険課長）】

西川会長ありがとうございました。

委員の皆様、本日は長時間にわたりご審議頂きまして、ありがとうございました。

以上もちまして閉会といたします。大変お疲れさまでした。

令和 7年 9月 1日

○議事録署名者

会長

西川 友史

委員

久保 久三

委員

西本 洋平